

小論文

2022年12月に開催された生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）では、新たな国際目標として「2030年までに生物多様性の損失を食い止め、反転させ、回復軌道に乗せる」といったネイチャーポジティブ（自然再興）の方向性が示された。これを踏まえ、我が国では2030年までにネイチャーポジティブを達成するという目標が掲げられ、「生物多様性国家戦略2023-2030」が閣議決定された。

土木分野も例外ではなく、ネイチャーポジティブに貢献すべき社会課題が存在し、取組が進められてきた。具体的な社会基盤施設を対象に、今後のネイチャーポジティブのあるべき姿について論ぜよ。（1200字以内）